

2020年9月30日
社会医療法人春回会 井上病院
院長 吉嶺裕之

医療従事者・同居家族対象新型コロナウイルス抗体保有率調査

【概要】我々は、長崎医療圏に位置する医療施設・高齢者介護施設に勤務する医療従事者とその同居家族を対象に、抗体保有率検査を実施しました。新型コロナ感染症抗体保有率は医療従事者 0%、同居家族 0.8%でした。感染者の対応にあたった医療従事者もいましたが、すべて陰性でした。現在、長崎における医療従事者と同居家族の感染率は極めて低いものと考えられます。

【背景】抗体保有率調査は、地域やある特定の集団の感染率を推定するのに有用な調査方法です。これまで主に都市部の一般住民を対象に調査が行われていましたが、長崎市などの地方都市部ではあまり行われてきませんでした。医療従事者や高齢者介護施設で働く医療従事者やその同居家族の感染率を把握することは、現状の感染対策の成功の可否を検討するうえで重要です。今回、春回会グループを中心に、医療施設や高齢者介護施設で働く医療従事者とその同居家族を対象に抗体保有率調査を行いました。

【対象】長崎医療圏に位置する病院（急性期、リハビリテーションなど）・高齢者介護施設・訪問・通所サービス・検診センターなど 13 施設を対象としました。対象施設には感染者対応にあたった法人外施設も含まれます。対象施設で働く医療従事者（全職種）とその同居家族で調査参加を希望する方を対象としました。

【方法】本研究は倫理委員会で承認され実施されました。同意書による同意を得た参加者より採血を行いました。血液検体を用いて、イムノクロマト法による簡易検査キットと精密検査（CLIA 法）の両方で陽性と確認された人を「抗体保有者」としました。

【結果】2020年8月11日から8月28日の間に676人（医療従事者551人、同居家族125名）が研究に参加しました。参加医療従事者の職種は看護師195人、医師31人、リハビリスタッフ87人、介護士59人、事務職員88人など幅広いものでした。その結果、新型コロナ感染症抗体保有率は医療従事者0%、同居家族の抗体保有率は0.8%でした。

【まとめ】現在、長崎における医療従事者と同居家族の感染率は極めて低いものと推測されます。この理由として、各施設で行われてきた感染対策がうまくいっているということに加え、地域内で新型コロナウイルスがそれほど拡がっていないことが考えられます。今後も定期的に抗体保有率調査を行い医療従事者と家族の感染率を把握するとともに、感染対策の徹底に努めていきます。流行期であっても医療従事者やその同居家族の感染率は低く、医療機関への風評被害、医療従事者およびその家族に対する差別や偏見をぜひなくして頂ければと思います。

本件に関する問い合わせ先

社会医療法人春回会法人事務局 担当：高辻。電話 095-845-1014、メール takatsuji@shunkaikai.jp